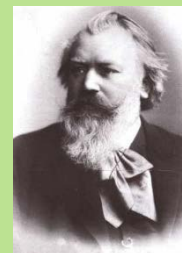


特別講演と新人演奏 3

堤剛 『ブラームスを語る』



新人演奏 チェロソナタ 第2番 ヘ長調 Op. 99

Vc 宮田 大 (2005年第74回日本音楽コンクール第1位 桐朋学園大学SD在学)
P 鈴木慎崇 (2002年第71回日本音楽コンクール第1位)



講師 堤剛

(桐朋学園大学学長 日本チェロ協会会長)

司会 西原稔

(桐朋学園大学教授・JBS顧問)

2006年4月9日(日) 3pm

ヤマハ銀座店 (銀座7-9-14) 2F コンサートサロン

全自由席 ¥3500 80席 (会員優先)

チケット 2006.3月発売開始予定 お申込み先 ブラームス協会
主催 日本ブラームス協会 03-3990-0611 (お問合せ先)
共催 (株)ヤマハミュージック東京 銀座店
後援 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会

<これまでの記録>

第1回 2004.1.18 作曲家 安良岡章夫 「ブラームスとシェーンベルク」
第2回 2005.4.3 指揮者 秋山和慶 「ブラームス 交響曲 第2番」

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>

●堤剛 (Tsutsumi Tsuyoshi) お話し

1950年に8歳で第1回リサイタルを開き、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事し、1956年に文化放送賞、翌1957年に第26回音楽コンクール第1位および特賞を受賞。1960年にはN響海外演奏旅行にソリストとして同行して欧米各地で協演し大絶賛された。

1961年アメリカ・インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。1963年よりシュタルケル教授の助手を務める。同年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞を果たし、以後内外での本格的な活動を開始。共演した主なオーケストラには、ボストン響、アメリカ響、モントリオール響、バンクーバー響、トロント響、ロンドン・フィルハーモニア管、スイス・ロマンド管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ウィーン響、ドレスデン・フィル、チェコ・フィル、プラハ響、ローマ・セントチェチリア管など、枚挙に暇がない。また、日本のオーケストラの海外公演にもしばしばソリストとして選ばれ、1974年新日本フィル世界演奏旅行、1984年東京フィルのヨーロッパ公演、1986年N響のニューヨーク公演に同行した。これまでに受賞した主な賞としては、『1992年度日本芸術院賞』をはじめ、『第2回サントリー音楽賞』、1973年ブリュッセルの“ウジェーヌ・イザイ財団”より『ウジェーヌ・イザイ・メダル』、1974年『芸術祭放送大賞』、1987年『第7回有馬賞』及び『モービル賞』、1993年日本芸術院賞、1997年『1998年中島健蔵音楽賞』などがある。レコード録音における活躍も目ざましく、『バッハ無伴奏チェロ組曲全6曲』で1970年度芸術祭優秀賞を、『ベートーヴェン・チェロ・ソナタ全集』で、1980年度レコードアカデミー賞および芸術祭優秀賞を受賞した。1988年秋よりインディアナ大学の教授、2004年4月より桐朋学園大学学長の任にある。



●宮田大 (Miyata Dai) チェロ

1986年生まれ、栃木県出身。3歳から父よりチェロの手ほどきを受ける。1995年第18回栃木県学生音楽コンクール弦楽部門第1位。2001年第1回泉の森ジュニアチェロコンクール中学生の部金賞。2003年第3回高校生以上の部金賞。2002年第7回コンセール・マロニエ21弦楽器部門最優秀賞。2004年第6回全日本ヒバホールチェロコンクール第1位。2005年第74回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、増沢賞、徳永賞、岩谷賞(聴衆賞)を受賞。2002、2003、2005年若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」に参加し、原田禎夫、矢部達哉、ロバート・マンの各氏に室内楽を師事。2003、2004年「小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトIV、V」に参加。桐朋学園音楽部門創立50周年記念演奏会において、小澤征爾氏指揮で協奏曲を演奏。豊田耕兒氏指揮による「スズキ・スチューデントズオーケストラ東京」三石精一氏指揮による那須野が原フィルハーモニー管弦楽団、早川正昭氏・井崎正浩氏指揮による栃木交響楽団と協奏曲を演奏。2003、2004年「日光音楽祭 in 東照宮」でリサイタルする。2004年「プロジェクトQ第2章」に参加し、原田幸一郎氏、原田禎夫氏、ジュリアードSQ、バルトークSQにマスタークラスを受講。「第16回JTが育てるアンサンブルシリーズ」に出演。2005年「JT 期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」「韓国日本ユースコンサート」「桐朋学園室内楽演奏会」「調布音楽祭」で室内楽演奏。「六花亭ホールチェロリサイタル」第一生命ホール、養父市立ビバホールにてリサイタル。2005年3月に桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を卒業し、4月高校卒業演奏会出演。桐朋学園音楽部門特待生を受け、桐朋学園大学ソリストディプロマコース1学年在学中。現在、倉田澄子氏に師事、室内楽を原田幸一郎氏、加藤知子氏に師事。



●鈴木慎崇 (Suzuki Yoshitaka) ピアノ

札幌市生まれ。4歳よりピアノを始め、幼少よりさまざまなコンクールで入賞を果す。全日本学生音楽コンクール高校生の部、日本音楽コンクールにおいて、それぞれ第1位受賞。また「トッパンホールランチタイムコンサート」や「JT が育てるアンサンブルシリーズ」をはじめとする、多数の演奏会にアンサンブルピアニストとして出演するほか、「2004、2005 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」において公式伴奏者をつとめるなど、室内楽や伴奏にも力を注いでいる。現在ピアノを角野裕氏に、室内楽を岡田伸夫氏に師事。



●西原稔 (Nishihara Minoru) ブラームス協会顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授、東京芸術大学非常勤講師。桐朋学園大学では音楽史各論、シューマン研究、音楽美学概論の講座を担当。著書は音楽の社会史(音楽之友社)、聖なるイメージの音楽(音楽之友社)、ピアノの誕生(講談社)、<楽聖>ベートーヴェンの誕生(平凡社)、その他翻訳、監修など。現在シューマンの批評活動と各ピアノ作品の成立史を研究、その成果を音楽雑誌に連載中。また音楽之友社より「ON BOOK21 シリーズ」で<音楽史ほんとうの話>が8月に、作曲家「人と作品シリーズ」全24巻の<ブラームス>は近々出版の予定。

